



あ

い

の

Vol.13

2012. 11月発行

【秋桜】

*Contents*

- ・形成外科外来
- ・認知症看護認定看護師としての今後の展望
- ・国際ハイパーサーミア腫瘍学会参加について
- ・9月～12月 講座・セミナー

# 形成外科外来

## 形成外科とは



月曜担当  
医師 武田孝輔

藍野病院に形成外科外来が設立されてはや5年目になります。皆様は形成外科外来の存在をご存知だったでしょうか？これまで毎週月曜日午前中に外来、午後には手術を行っていましたが、今年度から金曜日の午後外来が増設され、より綿密な診療が可能となっています。

日本に形成外科が発足してから既に半世紀以上を過ぎているにもかかわらず、一般の皆様の中には、「形成外科って何？」と問われる方もいらっしゃると思います。



金曜担当  
医師 奥野涼子



形成外科とは、身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、みなさまの生活の質“Quality of Life”の向上に貢献する外科系の専門領域です。

## 形成外科で取り扱う検査機器や手術を御紹介します。



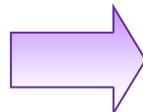
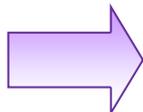
ダーモスコープ検査機器

平成24年度にダーモスコープ検査機器を外来に導入しました。ダーモスコープ検査は皮膚を拡大鏡で細部まで観察する検査です。皮膚腫瘍の診断に有用です。

一見、イボやホクロに見えるものが悪性皮膚腫瘍（皮膚がん）であることがあります。皮膚がんは早期に治療すれば完治しますので、小さい段階での受診が大切です。



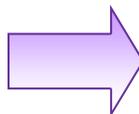
写真（左下）は、右耳後面の黒いブツブツとしたできものです。ダーモスコープで基底細胞上皮癌と診断しました。拡大切除後、耳の形がくずれないように耳の後ろから皮膚を移動させて（皮弁術）欠損部を閉鎖しています。右端は術後3ヵ月時点です。きれいに治っています。



**眼瞼下垂症**：上まぶたを持ち上げるための筋肉（眼瞼挙筋）がなんらかの原因により有効に機能しなくなることにより目が開きにくくなる病気です。眼瞼挙筋の代わりにおでこの筋肉（前頭筋）に力が入り眉があがってしまいます。

放置すると、頭痛、肩こり、眼精疲労などの原因になります。加齢とともに起こる以外に、白内障などの目の手術後、コンタクトレンズを長年使用している人にも起こる場合があります。

<術前>



<術後>



上の写真は、左眼瞼下垂症の症例です。左の眉毛を挙上してなんとかまぶたを開こうとしています。眼瞼挙筋前転術を施行すると左右のバランスがよくなり、眉毛の挙上も改善します。

一般的な診療内容としては、ほくろ・皮膚がんなどの皮膚腫瘍、やけど・ケロイド・キズアトの修正、眼瞼下垂症・眼瞼内反症・さかまつげといったまぶたの疾患、褥瘡、下腿難治性潰瘍など多岐にわたる疾患を取り扱っています。その他、腋臭症、巻爪の治療なども行っております。

意外となんでも屋さんです。気軽にご相談ください。 形成外科医 武田孝輔

## 認知症看護認定看護師としての今後の展望

### 「認知症看護認定看護師」として認定された N4病棟 福岡裕行師長にお話を伺いました。

私は、2012年に認知症看護認定看護師としての認定を受けました。認知症を持つ人がその人らしく生きるための応援団であるという、今までの私の考えに変化はありませんが、認定看護師という役割を受け、「より質の高い看護実践」が出来るよう努力をしていきたいと考えます。

具体的に病棟では、他の看護・介護職員と共にケアに必要な知識や技術の研鑽を行い、入院患者さまが今以上に満足していただけるための、病棟づくりを目指しております。また、環境においても畳やこたつ・ソファなどを使い、認知症を持つ方が安心できる居場所づくりを試みております。

病院全体では、認知症を持つ人が手術前後や透析の看護と同時に、認知症看護を受けることができるような環境づくりを認知症ケア専門士の資格を持つ職員が計画しており、そのような職員が一人でも増えるように院内にて認知症サポーター養成講座を実施しております。

最後に当院では、認知症の人が家に帰ることへの支援を進めています。自宅や施設への退院はもちろんのこと「病院ではなく、自分の家で最期を迎えたい」というご本人や「自分の家で最後を迎えさせてあげたい」というご家族の思いを、現実に変えるお手伝いをさせて頂きたいと考えております。そのため、地域で認知症の方を支えている方々と協働し、認知症を持つ人が最後を迎えるその日まで、その人らしく生きることを支えることができるようなチームを目指しております。



看護師長 福岡裕行



# 第11回国際ハイパーサーミア腫瘍学会・

## 第29回日本ハイパーサーミア学会に参加しました！

2012年8月28日(火)から31日(金)の4日間、ハイアットリージェンシー京都にて第11回国際ハイパーサーミア腫瘍学会ならびに第29回日本ハイパーサーミア学会が同時開催されました。



認定施設展示ブースにて、当院で行っているがん温熱免疫療法について紹介しました。国際学会との同時開催ということもあり、多くの方々に足を運んでいただきました。



### ＝9月～12月 講座・セミナー＝

#### 平成24年9月15日(土) 第1回高齢者医療を考える会

会場：茨木セントラルホテル 対象者：茨木、高槻市医師  
演者：山本 直宗 内科医長(中央診療部長) 『高齢者における糖尿病治療』

#### 平成24年10月13日(土) 14:00～16:00 茨木市医師会 主催 市民フォーラム(テーマは糖尿病)

会場：茨木市福祉文化会館5階 文化ホール 対象者：茨木市民  
[講演]14:10～14:40 山崎 満希子 栄養科主任  
[特別講演]14:50～15:50 吉田 麻美 内科副部長、栄養管理部長

#### 平成24年10月17日(水) 14:00～15:30 「パーキンソン病」講演会

会場：茨木保健所 対象者：ケアマネ、介護福祉士、保健師など 講師：杉野 正一 院長

#### 平成24年11月4日(日) 13:00～17:00 がん免疫療法市民公開講座(大阪市民への広報)

会場：グランキューブ大阪 対象者：一般の方(申し込み順) 医療法人恒昭会 藍野病院・京都府立医科大学 主催  
講師：坂井 宏実 内科医師、石川 剛 内科医師

#### 平成24年11月10日(土) 14:00～15:30 認知症の早期発見と予防に関する講演(近隣住民への啓発、広報)

会場：あいのホール(定員300～400名) 対象者：一般の方(申し込み順) 医療法人恒昭会 藍野病院 主催  
講師：杉野 正一 院長

#### 平成24年11月24日(土) 15:00～17:00 第23回日本老年医学会近畿地方会 市民公開講座

会場：大阪医科大学臨床講堂Ⅰ(学会事務局長：杉野正一 院長) 対象者：一般の方

#### 平成24年12月1日(土) 13:00～16:40 第9回シンメディカル糖尿病セミナー

会場：ブリーゼプラザ 小ホール(梅田) 対象者：医療関係者  
『糖尿病のチーム医療を考える～明日へつなぐチームの育成～』  
閉会の挨拶：小山 郁夫 理事長 座長：杉野 正一 院長

#### 平成24年12月10日(月) 10:00～12:00 認知症キャラバンメイト養成講座

会場：茨木市保健医療センター 対象者：医療従事者 講師：杉野 正一 院長

### お問い合わせ 総合受付

TEL:072-627-7611(代)

FAX:072-627-3627

入院のご相談は  
「地域医療連携室」まで

季刊誌「あいの」を最後までご覧頂き、ありがとうございます。  
今回は形成外科外来を紹介させていただきます。  
当院の形成外科外来は、昨年度まで毎週月曜日午前中のみの診察でしたので、皆様にはあまり馴染みがありません。今年度より診察日が週2日に増え、少しではあります。すがご利用頂き易くなりました。  
今後皆様役に立つ情報をお伝えできるよう、皆様のお声を生かしていきたくと考えておりますので、ご感想・ご意見・ご要望などありましたら、どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。  
編集委員一同